

第31回日本身体障がい者水泳選手権大会実施要綱

—東日本大震災復興支援—

1. 目 的
本大会は、全国の身体障がい者が水泳を通じて自己の有する能力に挑戦し、お互いの交流を深め、社会へ参加する意欲を大いに喚起するとともに障がい者のスポーツ振興を図ることを目的とする。また同時に、広く市民にボランティアや応援の参加を呼びかけ、障がい者への理解を深めることをも目的として開催する。特に本大会は、平成27年度宮城県で生活復興を支援するため開催予定の32回大会、平成28年度岩手県で開催される全国障がい者スポーツ大会に向けての運営準備大会と位置づけるとともに、東京2020五輪・パラリンピックへつながる復興支援大会とする。
2. 主 催 一般社団法人 日本身体障がい者水泳連盟
3. 主 管 第31回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会
4. 協 力 (公財) 東京都水泳協会、関東身体障害者水泳連盟、東北身体障害者水泳連盟、
(予定) (公財) 東京 YMCA
5. 後 援 厚生労働省、内閣府、文部科学省、(公財) 日本障がい者スポーツ協会、日本障がい者水泳協会
(予定) (公財) 日本水泳連盟、(一財) 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
(社福) 日本身体障害者団体連合会、(社福) 全国社会福祉協議会、東京都、
(公財) 東京都障害者スポーツ協会、
6. 協 賛 東燃ゼネラルグループ、大塚製薬(株)、(株)ヒカリスポーツ、(株)グロリアツアーズ、
(予定) (株) ケイ アンド ケイ、DHL サプライチェーン(株)、タキロンマテックス(株)
7. 期 日 平成26年11月8日(土)～11月9日(日)
クラス分け11月7日(金) 午前11時～
8. 会 場 東京辰巳国際水泳場 (50m×公認8コース 水深1.4m～3m)
〒135-0053
東京都江東区辰巳2-8-10
TEL03-5569-5061
FAX03-5569-5068
<http://www.tatsumi-swim.net/facilities/main-pool>
9. 競技方法
(1) 個人種目は、男女別に行う。
(2) 個人種目は、すべてタイムレースとする。
(3) リレーは、予選・決勝を行う。

10. 競技種目 別紙「競技種目一覧表」のとおり

11. 競技順序 15. 日程（4）競技日程のとおり

12. 競技規則 平成26年度 JPSF 地域大会・日本選手権大会競技運営指針（改訂版）、J-FCS クラス分けマニュアル2014年版および本大会要綱等による。（連盟ホームページ参照）

13. 参加資格および制限

（1）参加資格 個人種目は、下記「①②③」または「①②④」のいずれかに該当する者。リレーは、下記①②を満たしている者。

①平成26年度日本身体障がい者水泳連盟登録者。

②肢体不自由者および視覚障害者は、日本身体障がい者水泳連盟が認めたクラス分けをすでに受けている者。

③下記の大会において、1種目以上別紙の参加標準記録に達している者。

- ・第24回東北障害者選手権水泳競技大会
- ・第28回関東身体障害者水泳選手権大会
- ・第21回中部障がい者水泳選手権大会
- ・第25回近畿身体障害者水泳選手権大会
- ・第20回中国四国身体障害者水泳選手権大会
- ・第25回九州身体障害者水泳選手権大会

④日本身体障がい者水泳連盟から推薦を受けた者。

（2）制限 ①個人種目は、1人2種目以内とする。ただし、リレーは含めない。

②リレーは、登録団体対抗とし、1団体1種目2チーム以内とする。

（3）留意事項 ①シニア部門（大会1日目現在で満50歳以上の方）について

ア、種目は、50mの自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの4種目を実施する。

イ、一般の部の参加標準記録を達成している場合は、一般の部・シニアの部のいずれかを選択して出場することができる。

②1種目のみ参加標準記録を達成している者の中で、2種目目の出場を希望する者は、参加標準記録を達成していなくても出場することができる。ただし、競技の進行に支障があると審判長が判断した場合、競技を中止させることがある。

③大会で実施する各リレーはポイント制を採用する。28ポイントリレーと38ポイントリレーの両方に同一選手が参加することはできない。

14. 表彰

（1）男女別、種目別、およびリレー種目で1位、2位、および3位の選手にメダルを授与する。ただし、参加申込者が2名（チーム）までの種目は1位のみ、3名（チーム）の種目は2位までにメダルを授与する。

（2）リレー優勝チームには優勝トロフィーを授与する。（取りきり）

（3）オープン競技にもメダルを授与する。

（4）完泳者全員に記録証を発行する。

15. 日程

- (1) 受付時間 11月8日(土) 9:30～
 11月9日(日) 8:30～
 (2) 練習時間 11月8日(土) 9:50～11:00
 11月9日(日) 9:00～9:50
 (3) 監督会議 11月8日(土) 10:50～11:15

(4) 競技日程

競技順序	
11月8日(土) <1日目>	11月9日(日) <2日目>
開会式 11:45	競技開始 10:00
競技開始 12:30	21. 200m リレー 28p 予選
1. 女子 200m 個人メドレー	22. 200m リレー 38p 予選
2. 男子 200m 個人メドレー	23. 女子 200m 自由形
3. 女子 150m 個人メドレー	24. 男子 200m 自由形
4. 男子 150m 個人メドレー	25. 女子 100m バタフライ
5. 200m メドレーリレー 28p 予選	26. 男子 100m バタフライ
6. 200m メドレーリレー 38p 予選	27. 女子 100m 背泳ぎ
7. 女子 50m 背泳ぎシニア	28. 男子 100m 背泳ぎ
8. 女子 50m 背泳ぎ(浮き具付含む)	29. 女子 50m 平泳ぎシニア
9. 男子 50m 背泳ぎシニア	30. 女子 50m 平泳ぎ
10. 男子 50m 背泳ぎ(浮き具付含む)	31. 男子 50m 平泳ぎシニア
11. 女子 50m バタフライシニア	32. 男子 50m 平泳ぎ
12. 女子 50m バタフライ	33. 女子 50m 自由形シニア
13. 男子 50m バタフライシニア	34. 女子 50m 自由形(浮き具付含む)
14. 男子 50m バタフライ	35. 男子 50m 自由形シニア
15. 女子 100m 自由形	36. 男子 50m 自由形(浮き具付含む)
16. 男子 100m 自由形	37. 200m リレー 28p 決勝
17. 女子 100m 平泳ぎ	38. 200m リレー 38p 決勝
18. 男子 100m 平泳ぎ	閉会式
19. 200m メドレーリレー 28p 決勝	
20. 200m メドレーリレー 38p 決勝	

注：申込状況などにより、一部変更することがある。

- (5) J-FCS クラス分け 11月7日(金) 11:00～(予定) ※受検可能な選手には別途案内がある。

16. 本大会におけるJ-FCS クラス分けについて

- (1) 下記①②③の条件をすべて満たす選手はクラス分けに申し込まなければならない。
- ①2013年度第30回日本身体障がい者水泳選手権大会で1位の選手
 *当連盟ホームページで確認のこと
<http://paraswim.jp/?p=2051>
 - ②肢体不自由者(S・SM1～10, SB1～9)の選手
 - ③クラスステータスが「L」の選手

- (2) 肢体不自由（S21を含む）でステータス「L」の選手は希望すれば申し込むことができる。
- (3) 対応できる人数が限られるため、申込多数の場合は、今回受検できないことがある。そのため、クラス分けテストの受検の可否については別途連絡する。また指定された実施時間の変更はできない。申込者は前もって金曜日の日程を調整しておくこと。
- *なお、クラス分けテスト受検の優先順位は概ね、①連盟が指定した選手、②100m以上の種目で上位の選手、③住居地が開催地に近い選手の順で優先する。
- (4) クラス分け受検については下記をよく読み、理解して受検すること。
- クラス分けを受検する肢体不自由の選手は100m平泳ぎ（SB1～3は50m平泳ぎ）とS種目100mをエントリーしなければならない。
- 「競技とクラス分け」…競技とは障がい克服し、持てる能力をすべて発揮して行うものである。競技と同様に、すべてのクラス分け手順においてクラス分けに協力し、自分の持ちうる能力を発揮しなければならない。もし、クラス分けに協力しない、あるいは各テストで整合性が取れない、障がい安定していない等と判断された場合は「クラス分け中止」ないし「クラスなし」となることがある。この場合、大会には参加できるが、表彰はなく、記録は公認されない。なお、クラス分けに際し診断書の提出を指示されたものは提出しなければならない。クラス分けテスト中は選手側のコーチやクラブメンバー、保護者などから1名、立ち会わなければならない。クラス分けはクラス分けの諸手続きからテストならびに競技観察まで含まれる。
- (5) 選手のクラス評価は今回のクラス分け受検者以外の選手についても、競技全般を通じて実施する。競技観察の結果クラス分け委員から指示があれば、選手はその指示に従わなければならない。

17. 免責事項

- (1) 参加者の健康管理は、本人の責任とし各自十分注意すること。
- (2) 会場における事故などについては応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

18. 申込規定

- (1) 申込方法 ◇団体 別紙「団体用参加申込要領」を参照に申し込むこと
 ◇個人 別紙「個人用参加申込要領」を参照に申し込むこと
- (2) 申込先 〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目1-15 成樹ビル303
 第31回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会

*申し込み書の送付は必ず、郵送で行うこと（切手などをご負担願います）

- (3) 問合せ 下記にファックスまたはE-mailにて問い合わせること。
 FAX: 078-855-6621 E-mail: moushikomi@paraswim.jp

- (4) 参加費 個人種目 1種目参加：2,000円，2種目参加：3,000円
 リレー種目 1チームにつき 3,000円
- *参加費の納入は、下記指定口座への振込みのみとする。その他の方法では受け付けない。
- 振込先 ① 郵便局ゆうちょ銀行からの振込み
 記号 14220 番号 5189181
 シャ)ニホンシンタイショウガイシャスイエイレンメイ
- ② ①以外の金融機関からの振込み

店名 四二八 (読み ヨンニハチ), 店番 428 , 預金種目 普通預金
口座番号 0518918

- (5) 締切日 平成26年8月25日(月曜日)必着
*締切後の追加申込・変更等は受け付けない。
*納入された参加料等は原則返金しない。
- (6) 宿泊 斡旋はしない
- (7) 昼食 希望者は、申込書に必要数を記入すること。弁当1個700円
- (8) その他 プログラム 参加選手一人に一冊無償で配布予定

19.その他留意事項

- (1) オープン競技として、ジャパンパラ水泳競技大会出場レベルの知的障害者を対象として競技を実施する。対象者へは(一社)日本知的障害者水泳連盟より別途通知がある。知的障害者の実施種目については、参加標準記録表で確認すること。
- (2) 本大会の記録は 国際大会出場選手など選考の参考記録にする
- (3) 本大会では、ユーストリームによる中継を行う。誰もがインターネット等で競技を見ることができていることを理解の上、参加すること。
- (4) 速報は連盟ホームページに当日掲載する。従来事前申し込みをし販売していた速報についてはありません。
- (5) その他、大会の開催について必要な事項は、第31回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会が定める。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業